

平成27年度

明照保育園 公開保育

～つながりを大切にする保育を求めて～

平成27年8月19日（水）

社会福祉法人 明照保育園

幼保連携型こども園 明照保育園

明照児童クラブ



★目次★

- p 1 本日の流れ
- p 2 本園の概要（地域に向けて）
- p 3 園内案内図 1～3階
- p 6 ワクワク（活動）のつながり
- p 7 職員のつながり（連携）
- p 8 指導案 0歳児
- p 10 1歳児
- p 14 2歳児
- p 18 3歳児
- p 22 4歳児
- p 26 5歳児
- p 30 児童クラブ

本日の公開保育 流れ

8:30 受付

- ★正門の玄関、または園バス内にて受付ののち、資料等を入れた封筒をお受け取りください。
- ★封筒内のネームホルダーに、ご記名をお願い致します。
- ★時間まで、園内をご自由にご覧ください。

8:45 全体会

- ★2階遊戯室にて行います。

9:15 保育公開

- ★資料内の案内をご覧になり、園内ご自由にご参観ください。
- ★遊戯室にて、フリースタイルコーナーを設けています。ご自由にどうぞ。
- ★遊戯室では、11時15分頃から、昼食時間いっぱいまで、映像による園だより『明照元気っ子ビデオ』を放映しますので、よかったら合わせてご覧ください。

12:00 昼食開始

- ★遊戯室にて、スタートの所にある貯金箱に500円入れたら、パンバイキング・野菜カレースープ・冷やしぜんざいをセルフサービスにてご利用くださいませ。

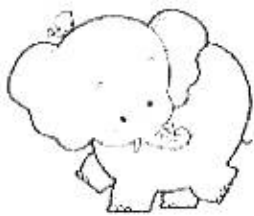
13:00 交流タイム

- ★指導保育教諭（学年チーフ）も加わり、ざっくばらんにすすめたいと思います。
交流テーマにしたいことがございましたら、ぜひ、お願いします。

14:30 終了

- ★今後の保育のためにも、アンケートにご記入いただけたら幸いです。

社会福祉法人



めいしょうほいくえん 明照保育園



幼保連携型こども園 明照保育園

〒441-8093 豊橋市牟呂中村町6-1

Tel 31-1419 Fax 31-1499

<http://www.tcp-ip.or.jp/~meisyou/index.htm>

理事長 & 園長 中島 章裕

くわしいことは、
ホームページ
にどんどんアク
セスしてね!

見学どうぞ
(連絡してね!)

保育のねらい・大切にしていること

『心身ともにたくましく、思いやりのある子ども』

★豊かな感性と心情、まわりのものへの関心や意欲、
人との温かい関わり合いの中で生きていく姿勢を育みたいと思います。★

【養護】

ひとりひとりの個性に合わせ、
情緒の安定を図り、温もりのある
保育をします。

【生活・遊び】

生活リズムを大切に、自己活動と、友だちと
協調できる活動を、生活や遊びを通して
総合的に経験するようにしています。

【文化的活動】

個々の特性に応じながら、発達課題を
配慮しているいろいろな体験ができる
環境を整えます。

◇小学校区 主に牟呂小学校と汐田小学校 ◇定員 285名 (1号15名含む)

◇職員の配置 園長1名 副園長1名 ◇園児数 (H27.8.1現在)

主幹保育教諭 1名 保育教諭 45名
調理員 6名 事務員等 4名

年齢	0	1	2	3	4	5	合計
人数	5	33	49	56	55	57	255

◇基本保育時間 平日 8:00~16:00 延長保育 平日のみ 7:00~19:00
土曜日 8:00~12:00

◇施設について (敷地面積 1,615.17㎡)
園舎 鉄筋コンクリート造3階建 延べ 1,653.77㎡

◇一年の行事・保育・家庭との交流

4	◎入園式 ◎始業式 ◎家庭訪問 ◎総会	<p>・身体測定・誕生会・避難訓練・交通安全指導(毎月) ・検便と検尿(年一回)・健康診断(年2回)・歯科健診 ◎印は、ご家庭の方も参加する行事です。 ・定期的、園のバスで園外保育に出かけます。 ・未入園児家庭を対象に定期的、年齢ごとの『親子 ひらびら』園庭開放を順番に行っています。 ・月一回土曜日に、小学生以上の子どもや地域の大人 が保育に参加する『なかよし保育』を行っています。</p>
5	◎親子遠足 ◎保育参加(学年ごと) ◎内科健診 ◎歯科健診	
6	◎フリーマーケット ◎個人懇談会	
7	◎七夕会 ◎年長児宿泊保育	
8	◎夕涼み会 ◎夏季保育	
9	◎祖父母のつどい	
10	◎園内運動会 ◎内科健診 ◎いもほり・焼きいもパーティー	
11	◎明照まつり(ガザ-) ◎七五三宮参り ◎年長児あわかれ遠足	
12	◎作品展 ◎クリスマス会 ◎もちつき	
1	◎おめでとう会 ◎保育参加	
2	◎節分豆まき(園内・校区交流)	
3	◎遊戯会 ◎卒園児保護者会と三世代交流会 ◎お別れ会 ◎お茶会 ◎卒園式 ◎修了式	

◇保護者との連絡・交流

- ・園だより(学年だより) ・保健だより
- ・献立表 ・早起きカレンダー
- ・お知らせ文&メールの配布(掲示)
- ・送迎時の懇談 ・個人懇談会
- ・“お知らせくん”…クラスの毎日の保育の様子を、その日のうちに保護者の携帯電話に配信します

◇家庭との交流

- ・映像による園だより『明照げんきっ子ビデオ』(無料貸出)
- ・四季折々の行事 ・育児相談 など

◇食物アレルギーについて

- ・医師の指導の下、除去食・代替食等で対応しています

◇入園時の諸経費

- ・園服園帽 ・保育教材 等

◇特別保育の実施状況

- ・時間延長保育 ・子育て支援事業

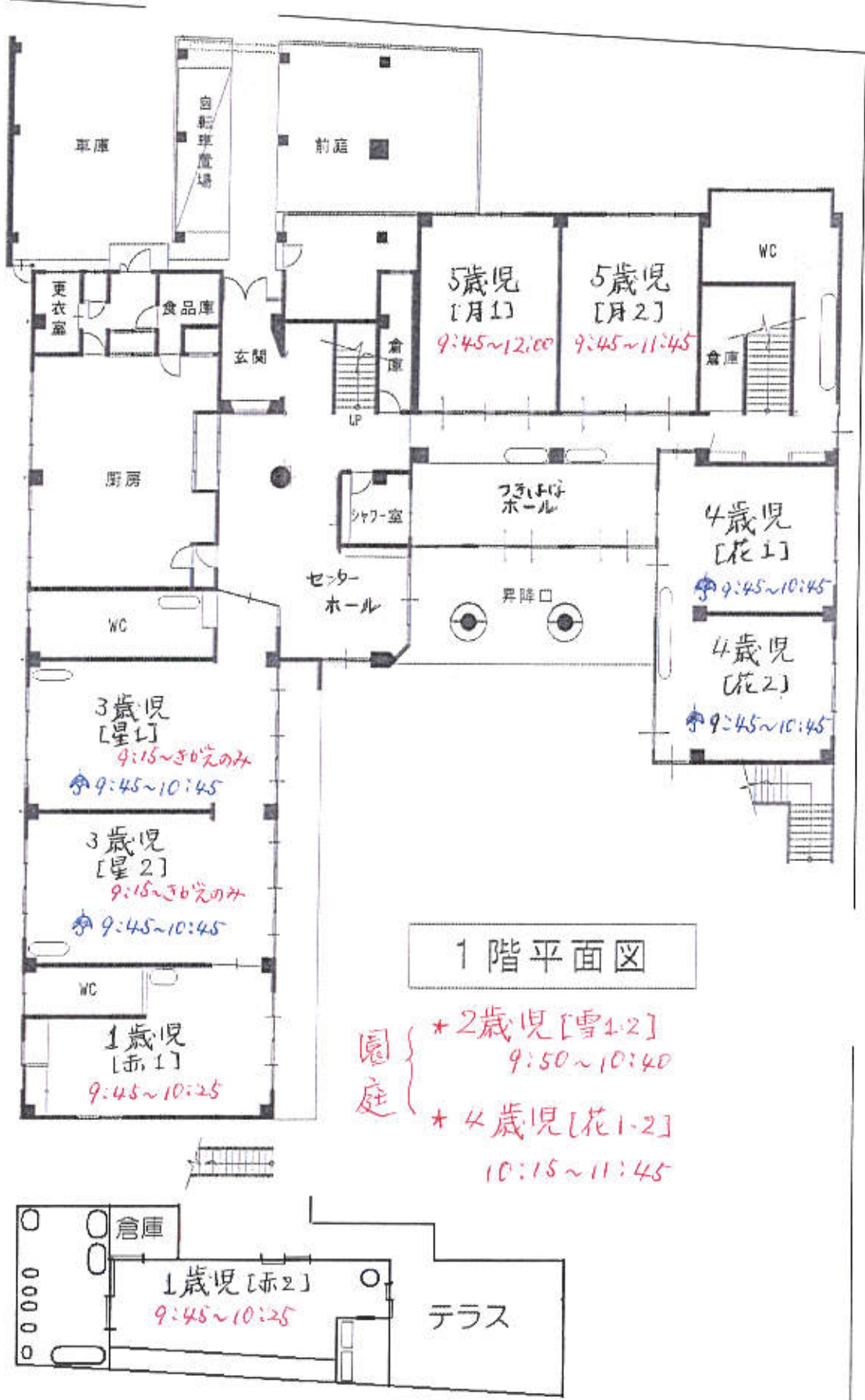
◇通園バス ありません



赤ちゃんから年長さんまでが集う保育園に、下校後の児童クラブも併設され、集団ならではの良さを生かし、『みんなでいる楽しさ』を経験する場を大切にしています。また、未就園児家庭への子育て支援も積極的にいき、生活リズムや食育などの情報提供を行っています。ご家族の方との交流はもちろん、地域や小中学校との温かいかわりの中で、文化を大切にしつつ、四季折々の保育をすすめています。運動面、絵画造形面、食育の面等から子どもの成長を支えられるよう、職員全員で連携をし、一人ひとりの豊かな成長を見つめていきたいと思っています。



園内案内図 1階 保育活動の予定



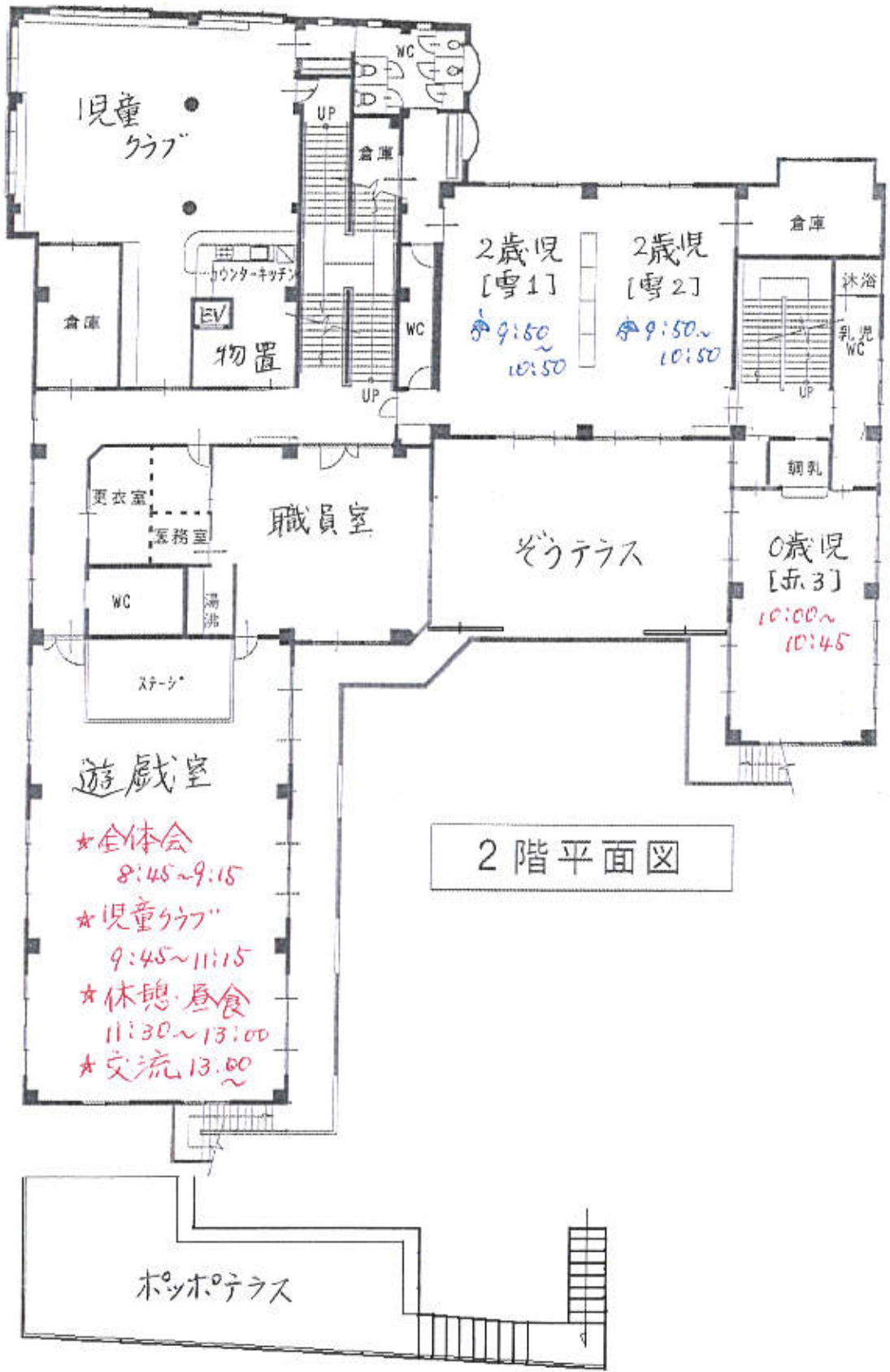
1階平面図

- 園庭
- * 2歳児 [雪1,2] 9:50~10:40
 - * 4歳児 [花1,2] 10:15~11:45

公道

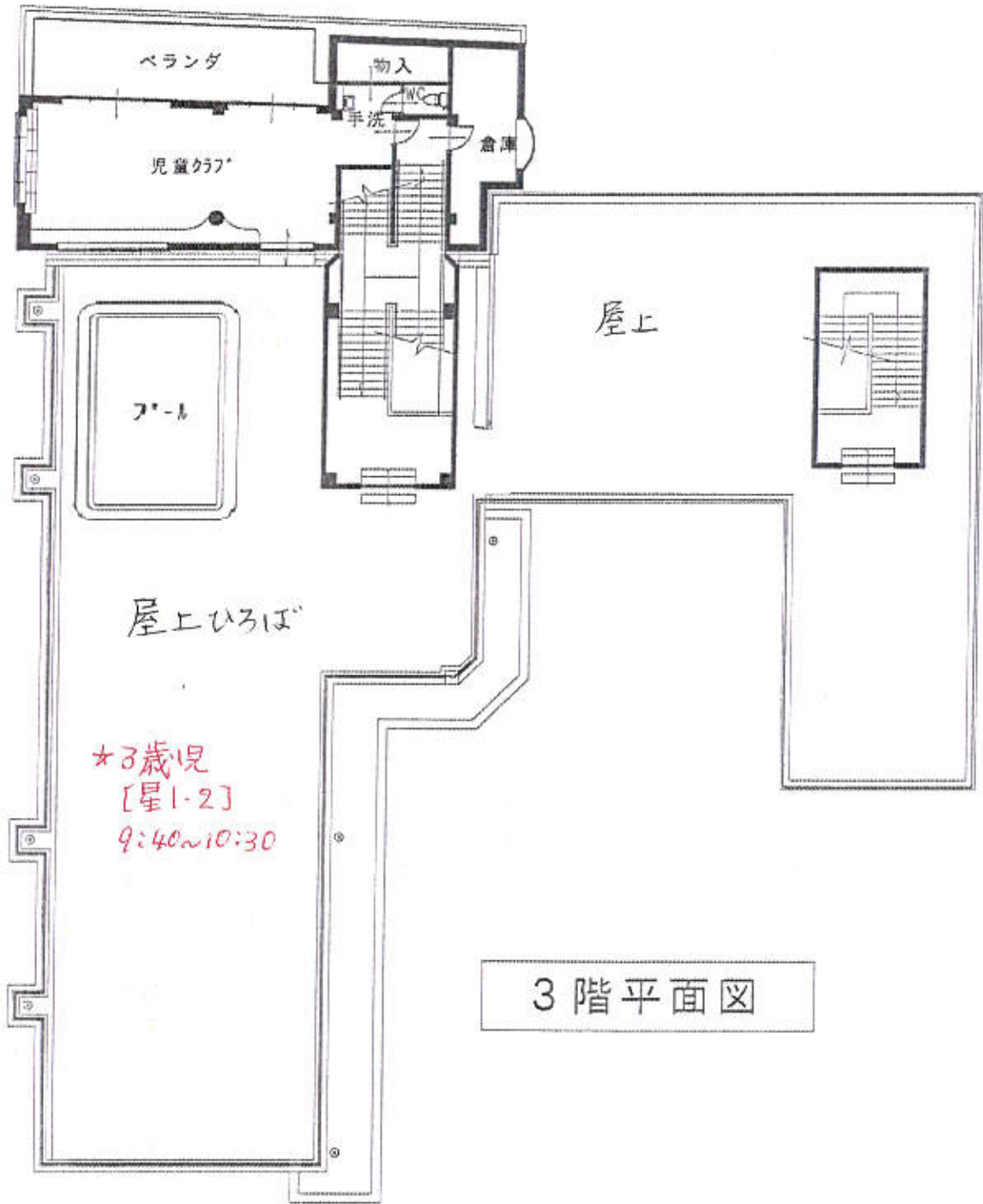
牟呂小学校

園内案内図 2階 保育活動の予定



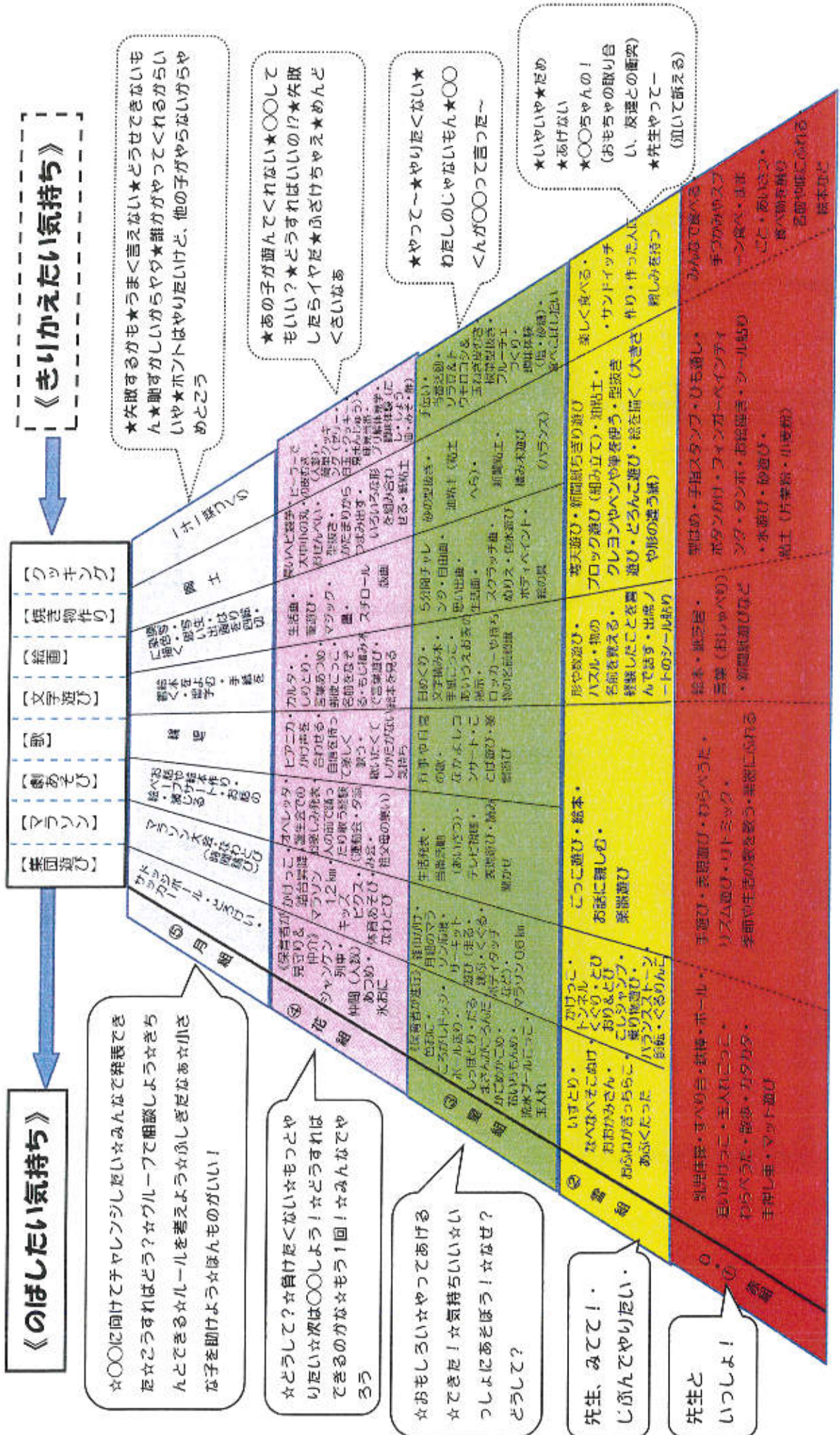
2階平面図

園内案内図 3階 保育活動の予定



発達を支えるワクワク (活動) のつながり

「0～5歳児までの活動の連続性について8つを例にあげ、保育者間で分析する」



～担当クラスを越えて、経験年数別グループと物的環境研究委員会で「たて」「よこ」「ななめ」のつながり～

保育経験年数別グループ

★もみじ会★ （15年以上が中心となって）

【保育の計画（&クラス運営&特別支援児）委員会及び保育（実習）指導】

保育・教育課程→年間指導計画（全体とともに“音楽”“造形”“運動”“食育”等、
保育活動の分野別を作成していく→月案→週日案 児童記録・保育要録
こども発達センター等との連携

★コスモス会★ （7年以上が中心となって）

【物的環境研究委員会リーダー】 “物的環境”を重視し委員会組織を編成、運営をしていく

★ひまわり会★ （5年以上が中心となって）

【子育て支援（園児家庭&地域家庭）・保育活動提供（造形表現ほか全般）委員会】

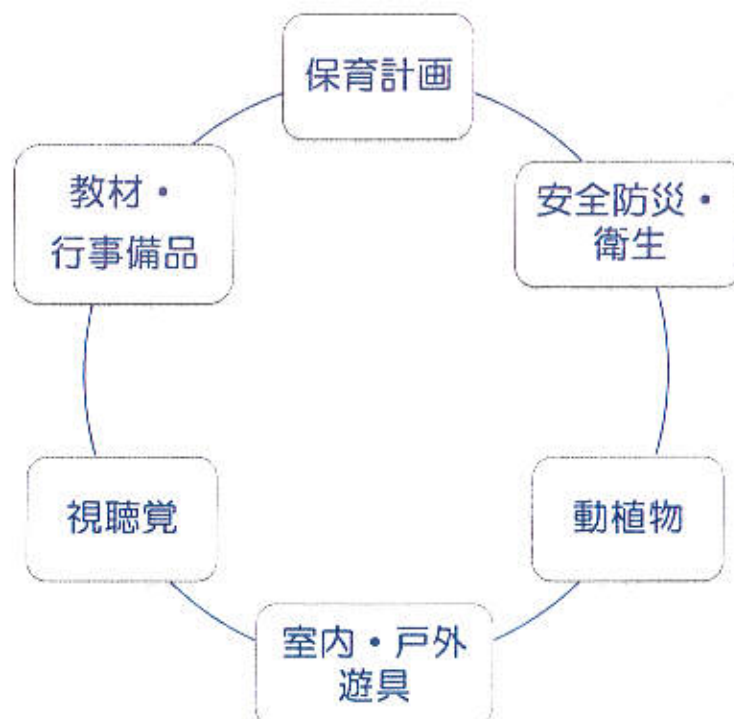
★あさがお会★ （2年以上が中心となって）

【保育活動提供（乳児&幼児運動）委員会】

★さくら会★ （1～2年目が中心となって）

【保育活動提供（音楽表現）委員会】

物的環境研究委員会



【0歳児】 ★赤3組 5名（男 4、女 1）

◎子どもの様子

- ・はいはい、つかまり立ち、歩きはじめと、月齢の違いや様々な発達が見られ、一人遊びを楽しんだり、友だちの遊んでいるものに興味を持ち、同じものを欲しがる姿もある。
- ・ボールやおもちゃを手のひら、指を使って、にぎる、つかむなどが見られる。
- ・手づかみ食べや、スプーンを持って、自分で口の中に、まだうまく入れることが出来ないが、自分でやろうとする思いが見られる。

◎ねらい

- ・ぬるぬる、べたべたなどの感触を、保育者と一緒に楽しむ。

○ねらいを達成するための活動の流れ

【スタンプあそび】（ 5月 ）

- ・手のひらにインクをつけて手型遊びをする。
- ・絵の具を指につけて、指スタンプをする。

- ・スタンプ台のインクを手につけることが、初めての経験になるので、無理のないように、保育者と一緒に手を添えて行い、手や指の形が付くのを見たり、スタンプをする感触を味わう。



【片栗粉であそぶ】（7月17日）

- ・茶碗に入れた片栗粉に触れ、感触遊びをする。

- ・手や指を使って、片栗粉の冷たい、温かい、ぬるぬる感を感じながら、感触遊びを楽しむ。
- ・保育者が触るのを見せたり、一緒に触れたりして、興味を持つようにする。



【片栗粉で遊ぶ】（8月19日）

- ・片栗粉を手で触れたり、体につけて遊ぶ。

- ・2回目ということで、触ろうとする子、前回見ていた子も、興味を持って触ってみようとする。
- ・手指で伸ばす、にぎる、そして体も使って感触遊びを楽しむ。



【フィンガーペインティング】

（9月）

- ・手のひらや指で、絵の具を伸ばしたり、絵の具を混ぜて遊ぶ。

- ・絵の具に小麦粉を混ぜたものを、ぬるぬる伸ばしながら、指のあとや色が混じり合うのを楽しむ。
- ・手や指を使って、のびのびとフィンガーペインティングを楽しむ。

- 本日の主活動
- ・片栗粉を、手で触れたり、体につけたりして遊ぶ。
 - ・友達や保育者と水遊びをする。

時刻	環境・準備	予想される子どもの活動	援助・配慮
10:00	○保育室の床にて 準備しておくもの ・レジャーシート ・片栗粉 ・水 ・冷蔵庫で固めた片栗粉 ・手ふきタオル ・洗面器	○保育者の近くに座り、手遊びを保育者と一緒に行う。 ・容器に入った片栗粉を保育者が触るのを見せると、触ろうと手を伸ばす子もいる。 ・保育者や友だちが触るのを見ている。 ○保育者が片栗粉に水を入れて、トロトロになり、手が吸い込まれていく様を見る。 ・触ろうと手を伸ばそうとしたり、保育者と一緒に手を入れてみる。 ・吸い込まれていく感触を感じる。	・何が始まるのか、子どもの興味が持てるような言葉かけや導入をする。 ・保育者が触れるのを見せて、子どもも触ってみたいという思いが持てるように進めていく。 ・触りたいと行動に出る子、見ながらも、興味が出ている子に対して、無理しないで、少しずつ触ってみようと思いをかけたり、誘ってみる。 ・目や口に入れようとする子には、出来るだけ入れないように気をつける。 ・手を入れると、吸い込まれていく感触を、保育者と一緒に手を入れてみて、味わえるように誘いかけてみる。
10:10	・茶碗、スプーン ・冷蔵庫で丸く固めたもの ・温かいもの	○冷蔵庫で固めたものを袋に入れて、それを袋の上から押ししたり、指で触ってみる。 (冷たいもの、温かいもの、丸めたものを用意する) ・持ち運んだり、転がす子もいる。 ○保育者が袋から出して、洗面器や茶碗に入れる。 ・触ろうとする、茶碗に手を入れ、手や指で這もうとする子もいる。 ・何が出てきたのかと不思議そうに見ている。 ○洗面器や茶碗、シートに出した片栗粉を保育者と袋に入れて集める。(大きな片栗粉ボールを作る) ○大きなボールに触ってみる。	・冷たい、温かい、ボール状にして、いろいろな感覚を味わえるように事前にしておく。 ・保育者が触れた感動を表現する事で、子どもも触りたいと思えるように、誘いながら、子どもの触れた時の表情や思いに共感していく。 ・袋から出して、手につけてみたり、先生や子どもと付け合ってみたり、ヌルヌル感を一緒に楽しむようにする。 ・子どもの遊ぶ様子を見守ったり、感触を楽しむ子どもに共感していく。 ・保育者も、子どもと一緒に、ぬるぬると伸ばしたり、にぎるなどの感触を見せたり、また、子どもの要求やまなざしを受けとめられるように、そばで様子を見守る。 ・片栗粉を、すべて集めて丸めて、大きなボール作り、触ったり、転がしたり、楽しかった遊びのまとめをする。 ・興味が見られない子には、無理をせず、保育者が様子を見ながら、関わっていくようにする。 ・体に付いた片栗粉を拭いてとり、着替えをして、清潔にする。 ・床やシートを拭いて、きれいに片づける。
10:35	・手、体ふきタオル ・雑巾 ・水あそびの準備 ・ビニールプール、お湯 ・水着、タオル ・水あそび用具	○片付けをする。 ○手洗い、手を拭いてもらう。 ○水着に着替える。 ○プールに入る。 ・入る前に、ぬるま湯で体を洗ってもらう。 ・水の感触を味わいながら、水遊びの遊具であそぶ。 ○プールから出る。 ・体を洗い、拭いてもらい、洋服を着る。	・水着に着替えて、水遊びの準備をする。 ・一人ずつ、体を洗って、プールに入る。 ・子どもの遊ぶ様子を見守りながら、保育者も一緒に遊び、安全に配慮しながら関わる。 ・「楽しかったね、また遊ぼうね」と共感しながら、遊びを終えて、片づけをする。

《評価のポイント》

- ・一人ひとりが、片栗粉の感触あそびを楽しむことができたか。
- ・手や指、体の感触あそびが、感覚機能を刺激するあそびになったか。
- ・保育者が、子どもと共感できたことは、どんな場面だったか。
- ・子どもが楽しめる環境設定がなされ、職員間で連携を持ちながら、保育者は、一人ひとりがあそびを楽しめる関わりができたか。

【1歳児】 ★赤1組 16名(男8人、女8人)

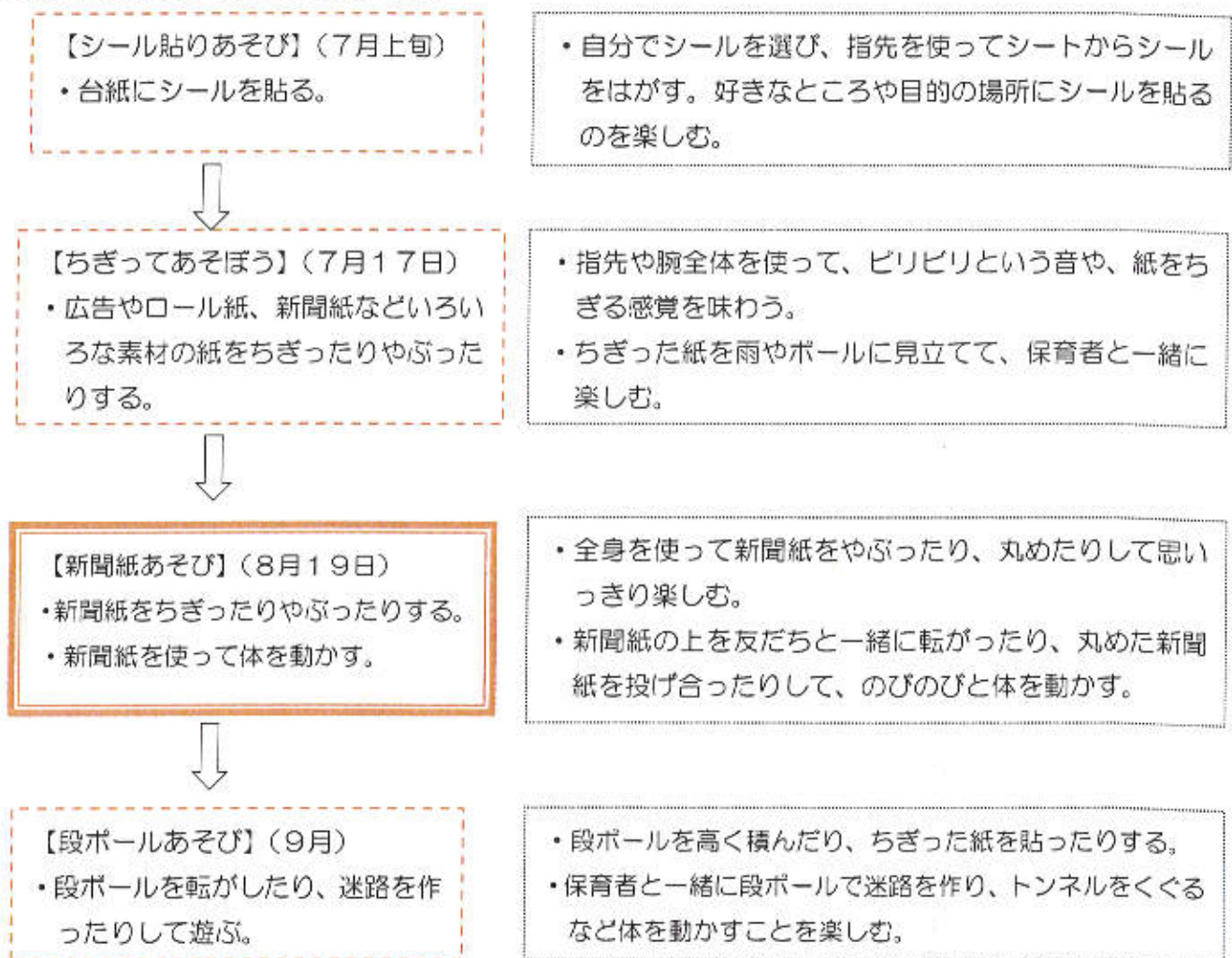
◎子どもの様子

- ・生活の流れがわかってきて、身の回りのことなどを保育者と一緒にやろうとする姿が見られる。
- ・出席ノートにシールを貼ったり、お菓子の個包装を自分であけようとしたりするなど、手指を使う様子が見られる。
- ・周りの友だちに関心を持ち、親しんでいる音楽に乗り体を動かす真似をしたり、ブロックで同じものを作ったりしてかかわろうとする。

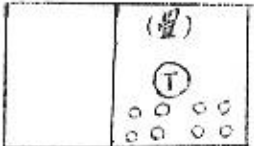
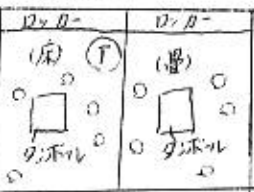
◎ねらい

- ・手指や全身の動きを保育者と一緒に楽しみながら、1歳児の発達段階に合わせた運動機能を高める。

○ねらいを達成するための活動の流れ



- 本日の主活動
- ・新聞紙をちぎったりやぶったりする。
 - ・新聞紙を使って体を動かす。

時刻	環境・準備	予想される子どもの活動	援助・配慮
9:45	<p>〈場所〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育室(赤1組) <p>〈準備しておくもの〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞紙 ・段ボール ・ビニール袋 ・セロテープ  <p>・ちぎった紙を入れる段ボールを用意する。</p> <p>・活動スペースを広く確保し、十分に体を動かせるようにする。</p>  <p>・大きいビニール袋を用意する。</p>	<p>○畳に集まり保育者の話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者の話を聞き、今から何をするかとわくわくする子がいる。 ・フラフラしたり寝転がったりするなど話に集中できない子もいる。 ・保育者と一緒に「一本指の拍手」などの手あそびをし、手や指先を動かす。 ・保育者が紙をちぎっているのを見て、驚いたり喜んだりする。 <p>○新聞紙をちぎる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞紙を自分で選び、ちぎる。 ・ちぎった紙を保育者に嬉しそうに見せたり、段ボールに入れたりする。 ・上手くちぎれない子もいる。 ・大きな新聞紙は保育者や友達と一緒にちぎる。 <p>○見立てや模倣を楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段ボールに入れた新聞紙を雨や雪に見立てて、顔や体にかかる感触を楽しむ。 ・床に散らばった新聞紙を見て喜びながらその中を歩いたり寝転がったりして楽しむ。 ・新聞紙を体に巻きつけて、洋服にしたり、丸めた新聞紙をボールにして投げたりする。 <p>○片付けをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散乱してしまった新聞紙をビニール袋の中に集める。 ・保育者が持っているビニール袋を追いかけながら入れようとする。 ・ビニール袋に集めてボールにしたものを保育者と一緒に投げ合う。 ・「もっとやりたい」とやり続けている子もいる ・出来上がったものをみんなで見ながら余韻を楽しむ。 <p>○次の活動の話聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に必要な物の準備を事前に話し合い、スムーズに遊びが始められるようにする。 ・「なにがはじまるのかな」と子ども達が興味を持てるような言葉かけや手遊びをする。 ・各机に保育者がつくことで、落ち着いて話が聞けるようにする。 ・活動へ興味を持てるような話し方をしたり、声の大きさを変えたりするなどの工夫をする。 ・子どもの言葉や発見に丁寧に答え、気持ちに共感していく。 <ul style="list-style-type: none"> ・保育者も一緒にちぎりながら、紙の感触やちぎったときの音などの楽しさを共有する。 ・保育者が手を添えながらやり方や感覚を知らせていく。 ・全体の様子を見ながら、ちぎることを十分に楽しめたタイミングで、かごに入れて上から舞う様子を楽しんだり、新聞紙を洋服にしたりして遊びを展開していく。 <ul style="list-style-type: none"> ・保育者と一緒に、上に舞った新聞紙に手を伸ばしたり、投げたボールを追いかけたりして体を動かすことを楽しむ。 ・新聞紙の上を走り回って転倒しないように配慮する。 ・思いっきり体を動かして遊ぶことが予想されるので、安全面に留意し、保育者同士で声をかけ合いながら防犯機応変に動くようにする。 ・子どもによって、やり方は様々で楽しむ時間もいろいろなため、一人ひとりのペースを尊重し、活動時間は余裕をもって進めていく。 <ul style="list-style-type: none"> ・片付けからも遊びが発展できるようビニール袋を用意し、一人一人が興味を持てるようにする。 ・ビニール袋を持って部屋の中を移動し、子ども達と追いかけて楽しむ。 ・子ども達を誘導しながら、保育者同士がボールを渡しあう。 ・みんなで集めた新聞紙を見えやすい位置で見せ合いながら「片付けもしょうずにできたね」などと声をかけながら満足感を味わえるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・「もっとやりたい」という気持ちを受け止めながら、次への活動へ切り替えられるように誘いかける。 ・子どもを誘導する保育者、保育室の環境設定をする保育者にスムーズに分かれる。
10:20			

《評価のポイント》

- ・子どもの興味に合わせて、環境を変化させ、一人ひとりの意欲を引き出すことができたか。
- ・職員間で活動内容の共通理解をし、子どもの状況に合わせた援助や連携が取れていたか。
- ・全身を使った運動あそびを楽しみ、1歳児なりの運動機能を高めるきっかけとなる活動になったか。

【1歳児】 ★赤2組 17名（男9、女8）

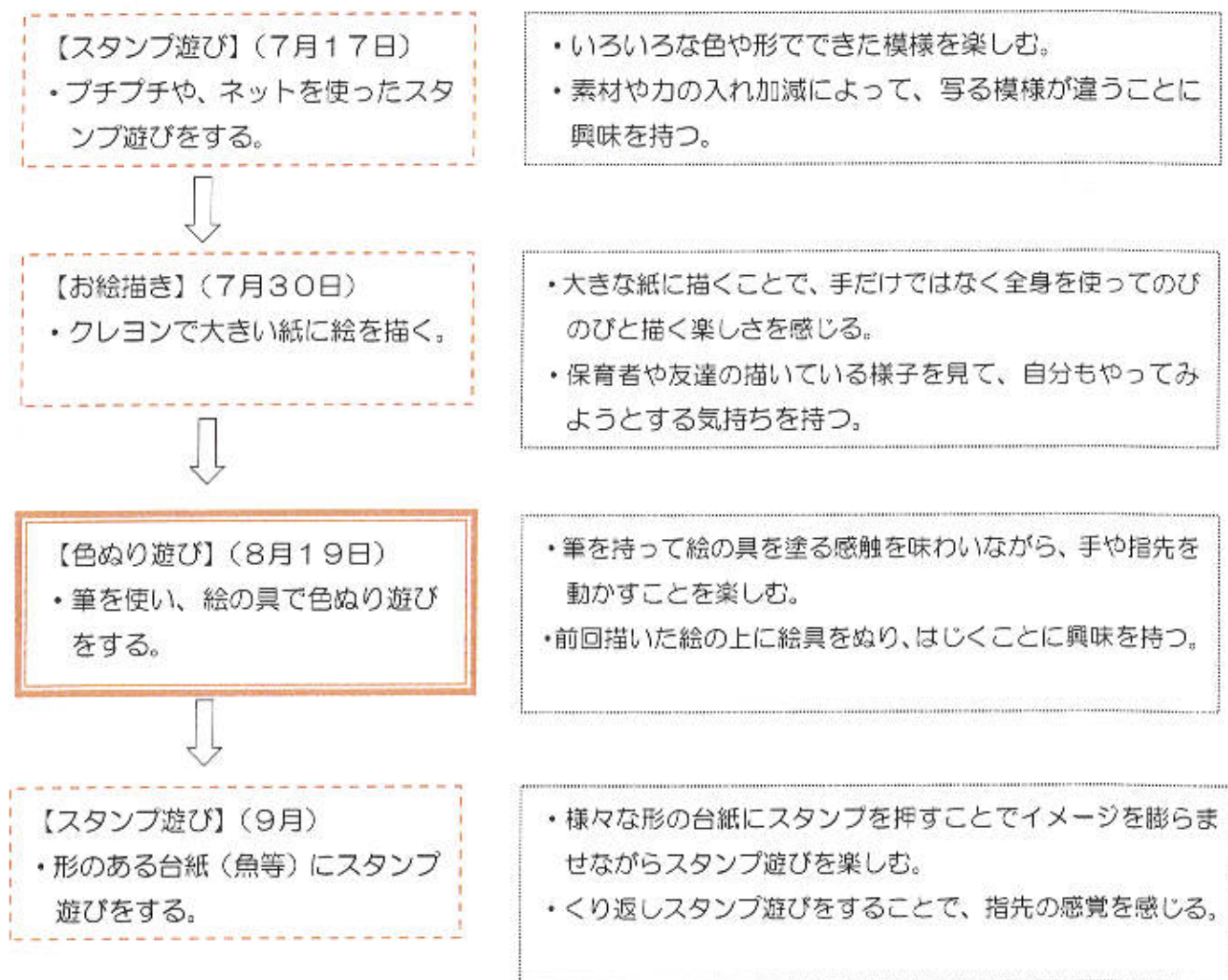
◎子どもの様子

- ・4月からの新しい生活環境にも慣れ、継続児同士だけでなく新入児も友達との関わりも見られるようになってきている。
- ・水遊びやシャボン玉遊びなど、夏ならではの遊びを通して触ったり、動かしたりしながら楽しんでいる。
- ・トイレに座ると排尿できる子も増え、日中パンツで過ごしている子もいる。
- ・クレヨンで絵を描く経験を重ねることで、点から線、線から丸へと個々の成長が見られる。
- ・「ミニお手伝い」に興味が高まり、保育者や友達の真似をして自分もやろうとする姿が見られる。

◎ねらい

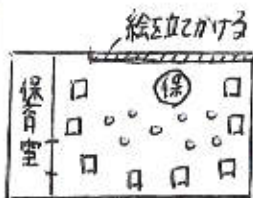
- ・いろいろな遊びを通して指先の感覚を豊かに育てる。

○ねらいを達成するための活動の流れ



○本日の主活動 ・筆を使い、絵の具で色ぬり遊びをする。

時刻	環境・準備	予想される子どもの活動	援助・配慮
9:45	<p><場所></p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤組テラス <p><準備しておく物></p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚紙 ・絵の具 ・筆(人数分+α) ・バケツ ・雑巾 ・タオル <p>○クレヨンで絵を描いた厚紙はテラスの柵に倒れないように固定する。</p> <p>○タオルは名前が見えるようにたたんでおく。</p> <p>○脱いだ服は一人ずつまとめておいておく。</p> <p>○バケツの中に水を入れておく。</p>	<p>○排泄をする。</p> <p>○水着に着替える。</p> <p>○畳で保育者の周りに集まる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者と「どんな色がすき」を歌いながら、絵の具や筆に興味を持つ。 <p>○テラスに出て保育者の周りに集まる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者を見て、今から何をするのか楽しみにしている。 ・保育者が厚紙に色を塗るのを見る。 ・保育者の歌っている「どんな色がすき」の曲に合わせて一緒に歌おうとする。 ・保育者の話を聞き、自分の思いや気が付いた事を口に出す。 <p>○筆を持って、絵の具を使い大きな厚紙に色を塗る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すぐに絵の具を筆に付けて厚紙に塗ろうとする。 ・絵の具が体につくことを嫌がる子もいる。 <ul style="list-style-type: none"> ・厚紙の白い部分に色が塗れたことや、クレヨンにはじかれる様子を見ておもしろいと感じたり、不思議に思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレトレーニングの進み方によっては個別に水着の中に紙パンツをはくようにする。(水遊びの時に紙パンツを脱ぐことを忘れないようにする) ・絵の具や筆を見せながらうたを歌い、子ども達が絵の具や筆に興味を持てるよう配慮する。 ・活動の準備を整える保育者と、子どもの前に出て保育を進めていく保育者、個別配慮をしながら子どもと関わる保育者など、複数の保育者が役割分担をしながらも連携を取り合って、無理なく子どもを活動に導入していく。 ・子ども達が興味をもてるような言葉がけや導入をする。 ・筆を持って色を塗る見本を示し、やってみたいという気持ちを高めるようにする。 ・子ども全体の動きを見て、皆が楽しめるようにしていく。子どもが答えやすいような色を見せ、意欲的に歌えるようにする。 ・子どもの言葉に回答し、模倣を促したりして、やりとりを楽しむ。気持ちを伝えようとしたことを褒め、意欲や態度を育てる。 ・一人ひとりのペースを大事にして、楽しく塗れるように関わる。 ・筆を持つことをためらう子には、保育者が手を添えて一緒に塗り、安心して行えるようにする。 ・子ども達の感動や驚きに共感し、保育者も楽しむことで遊びを盛り上げていく。
10:15	<p>○階段からプールを下ろし水を入れる。</p> <p>○状況を見て水遊び用のおもちゃを用意する。</p> <p>○色を塗った厚紙は、水にぬれない場所に移動し、後で子ども達が見ることができるようしておく。</p>	<p>○片付けをして、水遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体を水で洗ってきれいにする。 ・筆をバケツの中に入れて、きれいになっていく筆に興味を持つ。 ・塗った厚紙を見て余韻を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分できれいにしている時には温かく見守り、できない所はさりげなく援助することで自分でできた満足感が持てるようにする。 ・驚きや喜びに共感し、保育者も一緒に片づけをする。 ・余韻を楽しんでいる子どもの気持ちを大切に、次への活動へと繋げていく。



□…絵の具をそれぞれにおいておく

《評価のポイント》

- ・手を伸ばして色を塗る動きを楽しむための環境が1歳児に適していたか。
- ・初めて絵の具の筆を持つ子ども達が、興味を持っていきいきと取り組んでいたか。
- ・複数の保育者が役割分担をしつつも、子どもの状況に合わせて臨機応変な援助ができていたか。

【2歳児】（晴天時）★雪1組 25名（男11、女14） ★雪2組 24名（男10、女14）

◎子どもの様子

- ・4月から築いてきた保育者との信頼関係の中で、「自分でやってみたい」という気持ちが出てきて、簡単な身の回りのことを意欲的に行っている。その「できた」という達成感や満足感を味わう経験を積み重ねたことで、自信に繋がってきた。
- ・大人との関わりから、周りの子に関心を持ち始め、気の合う友達と同じ空間で見立てあそびをしたり、簡単な言葉のやりとりを楽しむ姿が見られる。
- ・水遊びや戸外遊びの経験を重ねることで体力が養われ、体を十分に動かして遊んでいる。

◎ねらい

- ・夏ならではの感触遊びをのびのびと楽しむ。
- ・自分でできる身の回りのことを進んでやってみようとする。

○ねらいを達成するための活動の流れ

【水遊び】（6月24日）

- ・ビニールプールで遊ぶ。
- ・自分で体を拭く。

- ・水遊びをすることによって、水の気持ち良さを感じる。
- ・玩具を使い、水の感触を味わう。
- ・プールから上がった後、自分のタオルで体を拭こうとする。



【戸外遊び】（7月8日）

- ・雨上がりに遊ぶ。
- ・手足の泥を自分で落とす。

- ・素手や素足で泥に触れることで、どろ遊びに慣れる。
- ・手足を清潔にし、さっぱりした心地よさを味わう。



【どろんこ遊び】（8月19日）

- ・全身を使って遊ぶ。
- ・見立て遊びをする。

- ・どろんこ用のパンツになって、泥の感触を楽しんだり、どろだんごや山を作ったりして遊ぶ。
- ・自分の思いや気付いたことを、保育者や友達に言葉で伝えようとする。
- ・年上の子に洗ってもらおう心地よさや嬉しさを感じる。



【寒天遊び】（9月）

- ・寒天に触れる。
- ・見立て遊びをする。

- ・保育者や友達と一緒に寒天に触れ、感触を楽しむ。
- ・友達の遊ぶ姿を見ることで、やってみようとする。
- ・保育者や友達とともに、見立て遊びを楽しみ、イメージを膨らませる。

- 本日の主活動
- ・全身を使ってどろんこ遊びをする。
 - ・見立て遊びをする。

時刻	環境・準備	予想される子どもの活動	援助・配慮
9:50	場所…園庭 ・園庭に水をまき、川や海に見立てた水たまりを作ったり、どろで山を作ったりしておく。 《準備するもの》 ・たらい(2つ)	○椅子に座り、「こくまちゃんのみずあそび」の絵本を見る。 ○どろんこ遊びの仕度をする。 ・どろんこ用パンツに着替えて帽子を被る。 ・どろんこ遊びが始まるのを楽しみにしている。	・どろんこ遊びを楽しみにできるような言葉かけをしながら、着替えの援助をする。
10:00	・足拭きタオル ・ゴザ ・体を拭くタオル	○どろんこ遊びをする。 ・体にどろをつけて感触を楽しむ。 ・「冷たい」「気持ち良い」など、どろの感触を言葉で表す。 ・体にどろがつくことに抵抗のある子がいる。	・保育者も一緒にどろに触れ、「つめたいね」「やわらかいね」など、感触や心地よさを言葉にして伝え、共に楽しむ。 ・どろで体が汚れることに抵抗のある子には、水遊びから入っていけるようにする。水のシャワーを浴びたりして、体に水や泥がつくことへの抵抗感を少しずつ減らしていき、それぞれのペースでどろんこ遊びが楽しめるよう配慮する。
10:30		・水たまりの中で足踏みをし、水のはじく音や様子を楽しみ、何度も繰り返す。 ・どろを集めて形を作り、山や団子に見立てて遊ぶ。 ・友達がやっているのを見て真似る。 ○体を洗う。 ・お兄さん・お姉さんに体についたどろを落としてもらう。 ・年上の子に体を洗ってもらうことに喜びを感じる。 ・体をきれいにする心地よさを感じる。 ・自分のタオルで体を拭き、保育者や友達と一緒に保育室に戻る。 ・排泄をし、衣服を着て畳に座る。	・イメージを持って遊んでいる姿を認めると共に、子ども同士のやりとりも大切にしながら、丁寧な関わりを心がけていく。 ・全体の遊びの様子を見ながら、一つの遊びを広げたり、一人ひとりとしっくり関わったりと、それぞれの保育者が動きを考えて工夫していく。 ・どろんこ遊びを楽しんだ子ども達の思いに共感する。 ・保育者がそれぞれ必要な場所に位置し、子どもの動きに応じて声をかけ合い対応していく。 ・年上の子に洗ってもらい嬉しさに共感していくとともに、体がきれいになっていく心地よさを感じられるよう言葉をかけていく。 ・自分でできるところまで自分で拭くよう声をかけ、仕上げを援助する。 ・濡れた床で転ばないように配慮する。
10:50		○楽しかった遊びへの思いを表現する。	・ざらざら、どろどろなどの言葉を豊かに使い、子どもの思いを引き出すことで、楽しかった遊びを思い返し、みんなで共感し合える様な時間を工夫する。

《評価のポイント》

- ・一人ひとりが土や水の感触を味わい、十分に遊べていたか。
- ・子どもの様子や状況に合わせ、それぞれの子ども合った環境が柔軟に作れていたか。
- ・導入から遊び、片付けまでの流れをスムーズに進めるための保育者同士の連携がとれていたか。

【2歳児】（雨天時）★雪1組 25名（男11、女14） ★雪2組 24名（男10、女14）

◎子どもの様子

- ・4月から築いてきた保育者との信頼関係の中で、「自分でやってみたい」という気持ちが出てきて、簡単な身の回りのことを意欲的に行っている。その「できた」という達成感や満足感を味わう経験を積み重ねたことで、自信に繋がってきた。
- ・大人との関わりから、周りの子に関心を持ち始め、気の合う友達と同じ空間で見立て遊びをしたり、簡単な言葉のやりとりを楽しむ姿が見られる。
- ・水遊びや戸外遊びの経験を重ねることで体力が養われ、体を十分に動かして遊んでいる。

◎ねらい

- ・夏ならではの感触遊びをのびのびと楽しむ。
- ・自分でできる身の回りのことを進んでやってみようとする。

○ねらいを達成するための活動の流れ

【水遊び】（6月24日）

- ・ビニールプールで遊ぶ。
- ・自分で体を拭く。

- ・水遊びをすることによって、水の気持ち良さを感じる。
- ・玩具を使い、水の感触を味わう。
- ・プールから上がった後、自分のタオルで体を拭こうとする。



【戸外遊び】（7月8日）

- ・雨上がりに遊ぶ。
- ・手足の泥を自分で落とす。

- ・素手や素足で泥に触れることで、どろ遊びに慣れる。
- ・手足を清潔にし、さっぱりした心地よさを味わう。



【寒天遊び】（8月19日）

- ・寒天に触れる。
- ・見立て遊びをする。

- ・保育者や友達と一緒に寒天に触れ、感触を楽しむ。
- ・友達の遊ぶ姿を見ることで、やってみようとする。
- ・保育者や友達とともに、見立て遊びを楽しみ、イメージを膨らませる。

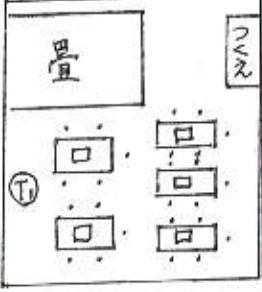
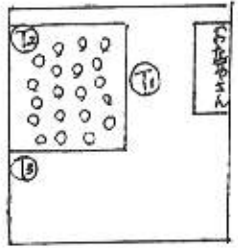


【どろんこ遊び】（9月）

- ・全身を使って遊ぶ。
- ・見立て遊びをする。

- ・どろんこ用のパンツになって、泥の感触を楽しんだり、どろだんごや山を作ったりして遊ぶ。
- ・自分の思いや気付いたことを、保育者や友達に言葉で伝えようとする。
- ・年上の子に洗ってもらう心地よさや嬉しさを感じる。

○本日の主活動 ・寒天に触れて遊ぶ。
 ・見立て遊びをする。

時刻	環境・準備	予想される子どもの活動	援助・配慮
9:50	<p><準備しておくもの></p> <ul style="list-style-type: none"> ・寒天（前日に作る。トレーやバット等に入れ、冷やしておく。） 	<p>○畳に座り保育者の話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者の話を聞き、寒天遊びをすることに興味を持つ。 ・机の方に移動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・なぞなぞをしたり、前日みんなで一緒に作った寒天を見せながら、寒天遊びをすることに期待が持てるよう話をする。
10:00	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びに使う容器（プリンや豆腐などの容器） ・スプーン（人数分+α） ・ぞうきん（各机） ・手拭きタオル（人数分+α） ・各机の下に敷く新聞紙 ・ビニール袋 ・手洗い用のバケツ 	<p>○寒天遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そっと触れたり、握りつぶしたりして感触を楽しむ。 ・「やわらかい」「つめたい」など、感触を言葉で表す。 ・感触が苦手、触ることに抵抗のある子がいる。 <p>○手づかみやスプーンを使ってカップに寒天を入れ、食べ物に見立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「みて！」と、自分で作ったデザートを保育者に見せたり、友達と見せ合う。 ・出来上がったデザートを自分でお店屋さん並べに行く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者も一緒に寒天に触れ、「冷たいね」「気持ちいいね」「きれいだね」など、感触や心地よさを言葉にして伝え、共に楽しむ。 ・直接触れることに抵抗のある子には、手につかないようビニール袋に入れて渡したり、汚れたらすぐに拭いたりするなど、安心して遊べるよう関わっていく。 ・遊びの様子をみながら容器やスプーンを用意し、見立て遊びのイメージがより膨らむようにする。 ・イメージを持って遊んでいる姿を認めるとともに、子ども同士のやりとりも大切にしながら、保育者が架け橋になって一緒に楽しみ、丁寧な関わりを心がけていく。 ・寒天で床が滑りやすくなるため、散らばった寒天は容器に集め、乾いたぞうきんでこまめに拭くようにする。 ・机には入れないよう、それぞれの机で保育者が配慮し見守る。 ・出来上がった子の満足感に共有するとともに、最後までじっくり取り組もうとする子の気持ちを満たせるようにする。 ・遊びの延長で楽しく片づけができるよう工夫する。
10:30		<p>○片づけをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の体や衣服についた寒天をきれいにとろうとする。 ・机や床に散らばった寒天を容器に集める。 ・水の入ったバケツの中で手についた寒天を落とす。 ・水道で手洗いをした子から畳に行く。 <p>○楽しかった遊びへの思いを表明する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗いをするよう伝え、無理なく次の活動へ移ることができるようにする。 ・活動の切り替え時は、保育者同士で互いの動きを確認し役割分担をしていく。
10:50			<ul style="list-style-type: none"> ・べたべた、どろどろなどの言葉を豊かに使い、子どもの思いを引き出すことで、楽しかった遊びを思い返し、みんなで共感し合える様な時間を工夫する。

《評価のポイント》

- ・一人ひとりが寒天の感触を味わい、十分に遊べていたか。
- ・子どもの様子や状況に合わせ、それぞれの子どもに合った環境が柔軟に作れていたか。
- ・導入から遊び、片付けまでの流れをスムーズに進めるための保育者同士の連携がとれていたか。

【3歳児】（晴天時）★星1組 28名（男10、女18） ★星2組 28名（男10、女18）

◎子どもの様子

- ・食事、手洗い、着脱など自分の身の回りのことを少しずつ自分で行っていくことで、自ら進んで行うようになってきている。
- ・自己主張して相手とぶつかる経験を通して、相手の思いに気付き、玩具の貸し借りや順番などのかかわりが子ども達自身で出来るようになってきた。
- ・保育者の指示待ちにならないように、自発的にあそびや活動に取り組んでいくことを課題としていく。

◎ねらい

- ・一人ひとりの子どもが自ら取り組み、楽しむ。
- ・新しい教材や活動に興味を持つ。
- ・水や絵の具の感触を味わう。

○ねらいを達成するための活動の流れ

【せいさく】（7月10日）

- ・野菜スタンプをする。

- ・身近な野菜を使い、スタンプを楽しむ。
- ・野菜の断面の形やその違いの面白さを伝える。



【どろんこ遊び】（7月30日）

- ・どろんこ遊びをする。
- ・ボディペインティングをする。

- ・気の合う友達と一緒にどろんこ遊びをしながら、泥の感覚に慣れ、親しむ。
- ・絵の具の感触を味わい、ダイナミックに遊ぶことを楽しむ。



【絵の具遊び】（8月19日）

- ・フィンガーペイントをする。

- ・指先を使って、絵具のぬるぬる、どろどろした感覚を楽しむ。
- ・色を混ぜたりしながら、色の変化に気付き、興味を持つ。



【色水遊び】（8月末）

- ・色水遊びをする。
- ・ジュース屋さんごっこをする。

- ・指先で水の感触を味わう。
- ・お店屋さんごっこを通して、友達とのやりとりを楽しむ。

○本日の主活動 ・フィンガーペイントをする。
 ・水遊びをする。

時刻	環境・準備	子どもの姿	援助・配慮
9:15	<p><場所></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育室で替替える ・屋上（テントをはる） ・屋上プール <p><用意するもの></p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵の具 ・ブルーシート ・段ボール 	<p>○『みずあそび』の歌を歌う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水遊びの歌を歌いながら、イメージを膨らませ、楽しみにする。 <p>○水着に替替える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水着に替替えることでプールを楽しむにする。 ・準備してあるものを見て、わくわくした表情をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな遊びをするのか楽しみにし、意欲をもって取り組めるように『みずあそび』の歌を歌いながら、いろいろな水遊びの真似をする。 ・いつもとは違う活動（フィンガーペイント）をすることを伝え、楽しみに出来るような声掛けをする。 ・屋上に上がりプールバックを置く場所や並ぶ場所へと誘導する。
9:40	<ul style="list-style-type: none"> ・ロール紙 ・大きな紙 <p>・ブルーシートの上に大きな紙を敷く。</p> <p>・段ボールを何個か積んでおいたり、並べたりしておき、4方向から立って推くなどできるようにして置く。</p> <p>・必要に応じて大きな紙や段ボールを追加していく。</p> <p>・絵の具の量を見ながら追加していく。</p>	<p>○フィンガーペイントの仕方や注意点など聞く。また保育者の遊び方（見本）を見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちが高ぶり、落ち着いて話を聞けない子もいる。 <p>○フィンガーペイントをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな紙や段ボールに絵の具を付けたり絵を描いたりするなど思い思いに楽しんでいる。 ・色を混ぜながら色の変化に興味を持つ子もいる。 ・手で絵の具に触れることに抵抗があり、なかなか遊びに入れなかったり、どうやって遊んだら良いのか分からない子もいる。 ・描きたい場所を巡ってトラブルになっている子もいる。 <p>○片付けをする。</p> <p>○体についた絵の具をシャワーで流し体をこすってもらう。</p> <p>○準備体操をしてプールに入る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・絵の具を見せ、問いかけながら説明をしていくことで、子ども達が考えた興味を持ったりして話が聞けるようにする。 ・実際に保育者が行って見せることで、より期待感を持てるようにする。 ・色の変化や絵の具の感覚に気づき、興味を持ちながら遊べるように声掛けをする。 ・塗る、着けるだけでなく色の変化や絵の具の感覚を感じ、描きたいものを意識しながら楽しめるようにする。 ・保育者も一緒に行いながら声を掛けていくとともに変化や感覚を共感しながら、新しいことに気づけたことへの喜びを感じ、次への意欲、自信につなげていけるようにする。 ・子どもの様子を見守りながら、絵の具が体につくことに抵抗がある子には指先で絵の具に触ってみることで少しずつ抵抗がなく楽しく遊べるようにする。 ・広く活動できる場所に誘ったり、どうしたら良いのか問いかけ子ども同士で考えられるように声を掛け、仲介をしていく。 ・活動したことを楽しく話しながら、軍手を使って体についた絵具を洗い流す。
10:15	<p>・フープを置き、その中で順番にシャワーを浴びられるようにしていく。</p>	<p>○準備体操をしてプールに入る。</p>	

《評価のポイント》

- ・色の変化や絵具の感覚を感じながら楽しむことができていたか。
- ・自分たちから興味を持ちフィンガーペイントをできていたか。
- ・目的をもって絵を描いたり、絵具に触れたりすることができていたか。

【3歳児】（雨天時）★星1組 28名（男10、女18）★星2組 28名（男10、女18）

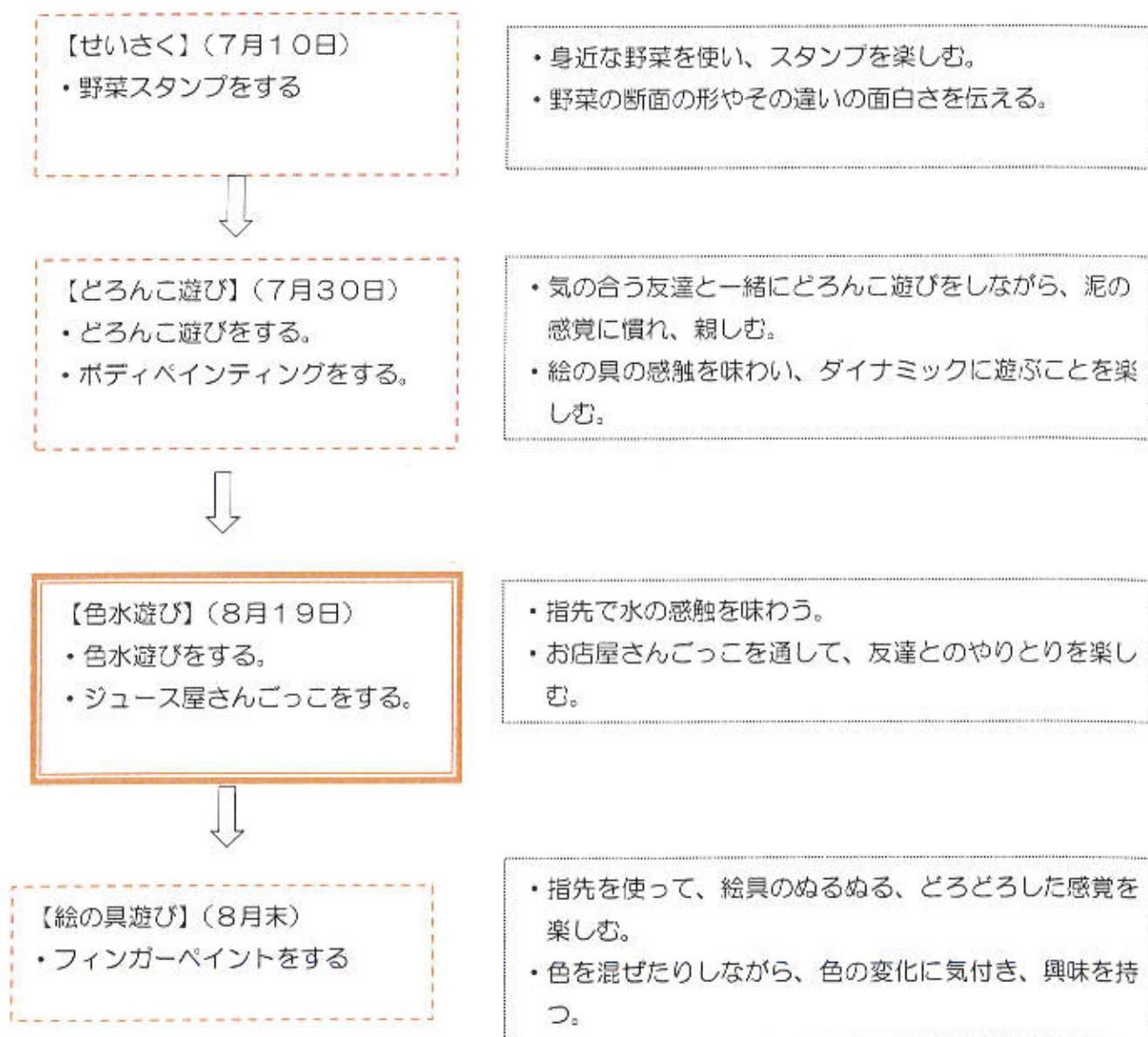
◎子どもの様子

- ・食事、手洗い、着脱など自分の身の回りのことを少しずつ自分で行っていくことで、自ら進んで行うようになってきている。
- ・自己主張して相手とぶつかる経験を通して、相手の思いに気付き、玩具の貸し借りや順番などのかかわりが子ども達自身で出来るようになってきた。
- ・保育者の指示待ちにならないように、自発的にあそびや活動に取り組んでいくことを課題としていく。

◎ねらい

- ・一人ひとりの子どもが自ら取り組み、楽しむ。
- ・新しい教材や活動に興味を持つ。
- ・水や絵の具の感触を味わう。

○ねらいを達成するための活動の流れ



○本日の主活動

- ・色水遊びをする。
- ・ジュースやさんごっこをする。

時刻	環境・準備	子どもの姿	援助・配慮
登園時	<ul style="list-style-type: none"> ・色水の入った容器を子ども達の見やすい場所に置いておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登園して色水の入った容器に気付き、「なんだろう？」と友だちと話したり、保育者に尋ねたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが自分で見つけて興味を持ち、好奇心が引き出せるような環境づくりを心掛ける。
9:45	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが自発的に活動へ取り組めるように、必要な物を近ごとに準備しておく。 <p>〈場所〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・星組保育室 <p>〈準備しておくもの〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な花びら ・プリンカップ ・台紙 ・レモン汁 ・重曹 ・新聞紙 ・机に敷くシート ・ペットボトル 	<p>○保育者の話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今から行う活動に期待を持ち、わくわくした表情を浮かべている。 ・興奮して席を立ってしまう子もいる。 ・友達と話しながら、シートを敷いたり、必要な物を取りに行き、色水遊びの支度をする。 <p>○食紅の色水を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色が溶けていく様子を真剣に見つめ、「きれい」「すごい」など感動を表情や言葉で表す。 <p>○朝顔で色水を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「きもちいい」「つめたい」など感触を楽しみながら朝顔や水に触れている。 ・朝顔をもみほぐし、水が少しずつ付いていく様子を不思議そうに眺めている。 ・友達のものや自分の物を見比べながら、色水が出来てきたことを喜ぶ。 ・すすんで取り掛かる子もいれば、はじめは少し躊躇して、まわりの様子を見ている子もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・色水を作ってみたいと思えるような演出を心掛ける。 ・席を立ってしまう子には、すぐに声を掛けず視線を送るなどして、気持ちが落ち着くように保育者が傍につき安心して活動に移れるようにする。 ・今から行う活動に期待しながら、同じ班の友達と協力して支度ができるように環境を設定する。 ・なるべく子どもが主体となり支度や活動ができるようにしていきながら、必要に応じて個々に援助をしていく。 <p>・子どもの思いや言葉に共感しながら、水の感触や色の変化していく過程に目を向けられるようにする。</p> <p>・一人ひとりが楽しめるよう見守りながら、「もっとしてみたい」「もっと知りたい」という意欲につなげていく。</p>
10:00	<p>ロッカー</p>	<p>○色水遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「これにする」と自分で選んだ液体または粉を色水の中に入れることを喜んで取り組む。 ・「みて、変わった」「青になった」と周りの友達と色の変化を伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動への期待が高まったところで、花や水の感触を指先でじっくり味わえるように時間と環境に配慮する。 ・子どもの「なぜ？」という問いに答えながら、材料の不思議さや面白さにも興味を持てるように言葉掛けをする。 ・保育者も一緒に作りながら「上手に作れたね」「きれいにできたね」とできたことを共に喜び合う。 ・同じ色でも多少の違いがあることを発見できるように、色に興味を持ちながら遊べるようにする。 ・少し躊躇している子には、まわりの子の楽しんでいる姿に目を向けられるような言葉掛けをしていき、自分からすすんで取り組めるよう見守る。 ・自分で選ぶ楽しさを味わいながら、友達と分け合ったり言葉のやりとりをしながら一緒に取り組めるようにする。 ・子どもから自然と溢れる感動の表情や言葉を受け止める。 ・もう一度色水を作りたい子は、材料を渡して楽しめるようにしたり、お店屋さんごっこに誘ったりと個々の興味の向く方へ自らすすんで動いていけるような配慮を心掛ける。
10:15		<p>○ジュースやさんごっこをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いらっしゃいませ」「これください」と友達や保育者とのやりとりを楽しむ。 ・友達と順番に色水を混ぜ、大きなジュースがでることを喜び合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・色水をこぼさないように気を付けて扱うよう伝える。 ・お店屋さんやお客さんになりきって友達とやりとりを楽しむことができるようにしていき、子ども達のイメージが膨らむよう環境を設定する。 ・みんなで一つの物を作り満足感を味わったところで、「またしようね」と次への期待と余韻に浸れるよう配慮をしていく。
10:30			

《評価のポイント》

- ・子どもを主体とした保育がなされていたか。
- ・子どもの状況に応じて柔軟な保育ができたか。
- ・子どもの意欲、取り組む過程への配慮は適切であったか。

【4歳児】(晴天時) ★花1組 27名(男15、女12) ★花2組 28名(男15、女13)

◎子どもの様子

- ・身の回りの事を自分からしようとし、さらにゴミ拾いや雑巾がけなど生活面での自立が進んでいる。
- ・友達とのかかわり合いが深まり、仲間意識も出てきて「い〜れ〜て!」「いいよ〜!」という声があちらこちらから聞こえてくる。しかし、まだまだ相手の気持ちを察したり、自分を我慢する力は弱く、突然けんかになったり、友達が仲裁に入って余計にややこしくなってしまうことも多い。
- ・友達同士で刺激を受け合い、友達に折り紙を教えてもらったり、真似をしてプールに潜ってみようとチャレンジしている。

◎ねらい

- ・年上の子に憧れを抱いたり、年下の子を思いやる気持ちを育み、異年齢児とのかかわり合う事で、人間関係や社会性の視野を広げる。
- ・世話をしたり手助けをした事で、喜ばれたり感謝されたことを感じ、嬉しさや自分への自信を持つ。

○ねらいを達成するための活動の流れ

【星組へのお昼寝当番】(5月より)
《1班ずつ1週間交代で毎日行う》
・年少児をトントンして寝かしつける。

- ・年少児のそばについて、心地よく眠りにつけるように優しくトントンする。
- ・寝かしつけることができたり、感謝の言葉をかけられることで自信を持つ。

【雪組のお世話係】(7月中旬より)
《1班ずつ1週間交代で毎日行う》
・寝ている2歳児を起こしたり、トイレへつれていく。

- ・なかなか思うようにいかない2歳児に対して悪戦苦闘しながら、責任を果たそうとする。
- ・自分の気持ちよりも年下の子を大切に思い、優しい気持ちで接する。

【雪組のどろんこあそびの後始末を手伝う】(8月19日)
・2歳児の泥のついたパンツを洗う。
・濡れた身体を拭いてあげる。

- ・2歳児ではできないパンツ洗いや身体を丁寧に拭く手伝いをして、年上としての自覚を持つ。
- ・喜ばれたり感謝の気持ちを聞き、人の役に立つ喜びを感じ自信を持つ。

【たてわり保育】
(6月より定期的に実施)
・たてわり保育で異年齢児と、活動したり遊んだりする。

- ・たてわり保育で、年下の子の面倒をみたり遊んだりして思いやりの気持ちを育む。
- ・あそびや活動の中で、年上の子の刺激を受けながら年長児への憧れを抱く。

- 本日の主活動
- ・2歳児のどろんこ遊びの後始末（体を拭く・パンツを洗う）を手伝う。
 - ・泥の感触を楽しみながら友達と一緒に遊ぶ。

時刻	環境・準備	予想される子どもの活動	援助・配慮
10:15	<p>〈場所〉月花組テラス 〈準備するもの〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バケツ ・洗面器 ・かご 	<p>○どろんこの支度に着替える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どろんこ遊びがはじまるのを楽しみにする。 <p>○どろんこ遊びが終わった重組の後始末を手伝う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泥で汚れたパンツを洗う。 <ul style="list-style-type: none"> ・パンツが上手く絞れない子がいる。 <ul style="list-style-type: none"> ・年下の子とどのように接すればよいかわからず動けない子がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どろんこ遊びが期待できるような言葉かけをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・小さな子の世話をすすんでやろうとする気持ちが引き出せるように誘う。 ・大きなバケツに水をためておき、その中でパンツを洗い、泥をキレイに流すよう言葉かけをする。 ・正しい絞り方でできているか保育者が確認したり、子どもが自分でやろうとする気持ちを受け止めながら様子を見守る。 ・子どもから言葉を発して聞かれるように見守り、どうしても動けずにいる子には個別に言葉かけをする。
10:45	<p>〈場所〉園庭 〈準備するもの〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バケツ ・とい ・平均台 ・葉っぱなどの自然物 	<p>○どろんこ遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泥を手や足に塗ったり、水溜りで足踏みをしたりして楽しむ。 <ul style="list-style-type: none"> ・泥の感触に抵抗があり、遊びに入れない子がいる。 ・泥を掴めて友達の体につけたり手で山や川を作って遊ぶ。 ・ダムや川を作る中で水が溜まっている所をみたり、水や葉っぱが流れていく様子に興味を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの遊びをしている中で、友達とより親しんで遊べるように誘いかけたり、遊びを更に発展させていけるようにする。 ・泥が苦手な子には、無理に誘わず少しずつ触ったりして遊ぶ楽しさが感じられるようにする。 ・スコップなどの道具を使わずに手で掘り、友達と協力して一緒に作る楽しさを共有する。 ・遊びが発展するようなきっかけを作り、水をせきとめたり、流したりする。
11:15	<p>〈準備するもの〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たらい ・おけ 	<p>○片付けをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泥がついた道具を洗う。 <ul style="list-style-type: none"> ・どろんこ遊びに夢中で遊びを続けている。 <p>○体についた泥を洗い流し、着替える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の手足に付いている泥を、自分でこすってキレイにする。 ・友達同士で泥がついているところを水で流し合う。 ・タオルで身体を拭き替える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道具を洗う場所を作り、責任を持って片付けが最後までできるようにする。 ・どろんこ遊びが十分に楽しめたことを共感し、片付けができるように言葉かけをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・泥だらけになった体を自分でこすったり、友達と一緒に洗い合い、綺麗になる気持ちよさを感じられるようにする。 ・水が拭き取りにくい背中なども自分で拭いていけるように見守る。
11:30	<p>〈場所〉月花テラス 〈準備するもの〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バケツ ・洗面器 ・かご 	<p>○着替えた子から自分のパンツを洗う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洗えた子からカバンにしまう。 <p>○楽しかったどろんこでの様々な遊びを話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達のパンツと間違えないように保育者が見守り、洗い場で混雑しないよう配慮する。 ・子どもたちからの声を受け止めながら次回への期待をふくらます。 ・年下の子の世話ができたことを十分に受け止め、認めていく。

《評価のポイント》

- ・自分よりも年下の子のお世話を積極的にすることでの喜びや難しさが味わえていたか。
- ・どろんこ遊びを友達と共感し、楽しむことができていたか。
- ・泥の感触を味わったり、水の流れの面白さに気付くことができたか。

【4歳児】（雨天時） ★花1組 27名（男15、女12） ★花2組 28名（男15、女13）

◎子どもの様子

- ・身の回りの事を自分からしようとし、さらにゴミ拾いや雑巾がけなど生活面での自立が進んでいる。
- ・友達とのかかわり合いが深まり、仲間意識が出てきて「い〜れ〜て!」「いいよ〜!」という声があちらこちらから聞こえてくる。しかし、まだまだ相手の気持ちを察したり、自分を我慢する力は弱く、突然けんかになったり、友達が仲裁に入って余計にややこしくなってしまうことも多い。
- ・友達同士で刺激を受け合い、友達に折り紙を教えてもらったり、真似をしてプールに潜ってみようとチャレンジしている。

◎ねらい

- ・いろいろな素材や教材の特性の違いを理解し、思い思いにイメージしたものを作りあげる楽しさを味わう。
- ・友達の作品や作る様子に目を向けることで、刺激を受け高め合う。

○ねらいを達成するための活動の流れ

【マジックペンで描く】
（4月17日）

- ・マジックペンで顔を描く。

- ・マジックペンの扱い方を再確認し、ペンの太さや描き心地を意識的に感じながら描く。

【両面テープを使う】（6月29日）

- ・ジャンプがえるの玩具をつくる。

- ・両面テープを使って貼る事で、両面テープの特性やセロテープ・のりとの違いを知る。

【つくってあそぼ 1回目】
（8月19日）

- ・スチロール皿を使って魚作りをする。
- ・鱗やひれを廃材等で飾りつける。

- ・「魚」というテーマで、スチロール皿を土台にして、鱗やひれを廃材等から自分で選び、思い思いに表現する。

【つくってあそぼ 2回目】
（9月上旬）

- ・廃材等を組み合わせて使い、玩具等を作る。

- ・テーマを基に土台から自分で選んだ物を用い、様々な廃材や教材等で飾りつける。
- ・自分らしい作品に満足したり、友達との作品との違いや良さに気づく。

- 本日の主活動
- ・スチロール皿を使って魚作りをする。
 - ・友達と魚釣りをして遊ぶ。

時刻	環境・準備	予想される子どもの活動	援助・配慮
9:45	<p>〈場所〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育室 	<p>○魚の映像を見る。</p> <p>○出てくるいろいろな魚に興味を持って見ていたり、気がついたことを話している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・魚の世界に入り込むように、期待感や楽しみな気持ちが湧くような言葉かけをする。 ・魚の色や形など気がついたことを言葉で表現して伝え合い、更に魚のイメージを共感できるようにする。
10:00	<p>〈事前に準備しておく物〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見本(色々なうろこの魚) ・スチロール皿(事前に引っかけの輪をつけておく、うろこになるところに両面テープを貼っておく) ・うろこになる材料(プチプチ、広告紙、アルミホイールなど) ・画用紙の尾びれ(両面テープを付けておく) ・油性ペン ・釣り竿 <p>・うろこの材料を取りに行くときに混雑しないような環境設定をする。</p>	<p>○魚作りをする。</p> <p>○製作活動の準備をする。</p> <p>○スチロール皿を取りにいき、好きな色の尾びれを選んで貼る。</p> <p>○様々な材料の中から好きなものを選び、うろこを貼っていく。</p> <p>・迷ったり必要以上にたくさん持っていく子もいる。</p> <p>○目を描いたり、うろこ以外の部分をペンで模様を描いたり、色を塗っていく。</p> <p>・集中や理解が出来なかったり、細かい作業が苦手な子もいる。</p> <p>・出来上がった魚を嬉しそうに保育者に見せたり、友達同士で見せ合う。</p> <p>○身の回りの片付けをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・魚への興味から自分で作ってみたいという意欲が生まれるような言葉かけをする。 ・どんな魚を作りたいか一人ひとりが考え、魚のイメージに沿った材料選びが出来るように、様子に合わせて援助する。 ・イメージが湧かなかったり、自由に作る事が苦手な子には、見本や友達の様子を見せることで、取り組んでいけるようにする。 ・道具の正しい使い方、安全に使っているか見守り、様子に応じて個々への声かけをしていく。 ・綺麗に出来た、丁寧に出来たという嬉しさを感じられるように出来たことを認め、次への自信につなげていく。 ・個々に合った援助をして自分で出来た達成感を感じられるようにする。 ・製作時間に差が出ると予想されるので、できた子は待ち時間がないように配慮をし、ゆっくり取り組む子には丁寧にやっていることを認め、自分の手で作り上げる満足感を得られるようにする。
10:20	<ul style="list-style-type: none"> ・机を片付ける。 ・ブルーシートを敷く。 ・見本の魚も海の中に置く。  <p>・壁面を海に見立て、水色のポリを貼る</p>	<p>○出来た子から魚釣り遊びをする。</p> <p>○釣り竿の使い方、魚釣りの遊び方を確認する。</p> <p>○魚をブルーシートに置いて、魚釣りをする。</p> <p>○グループに分かれて魚釣り競争へと発展する。</p> <p>・友達を応援したり、魚のある場所を教えてあげたりしている。</p> <p>・魚の取り合いからトラブルになっている子がいる。</p> <p>○釣り竿を集める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・釣り竿を安全に使えるように見守る。 ・輪に引っかけ魚を釣る難しさや集中力や器用さを経験して、自分で釣れた達成感や喜びを感じられるように見守る。 ・友達と一緒に遊ぶ楽しさを共感する。 ・競い合う楽しさや負ける悔しさを経験し、競争心やどつずればたくさん釣れるかななどの探究心を持てるようにする。 ・子ども同士で話し合う場を作り、見守りながら必要に応じて介入をする。
10:40		<p>○魚を壁面に飾る</p> <p>・友達が作った魚を見て、刺激を受け合い、言葉を交し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の魚を見せ合う場を設け、友達の良さに気付いたり、自分のイメージで出来上がったことの楽しさや嬉しさが味わえるようにする。

《評価のポイント》

- ・魚を作る際に、子ども達の自由な発想を引き出すことができたか。
- ・子ども達が自分でイメージした魚を表現することができたか。
- ・自分で作った物で遊ぶ楽しさを十分感じる事ができたか。
- ・友達が作った魚を見て刺激を受け、共有したり高め合いができたか。

【5 歳児】

★月1組 28 名(男 20、女 8)

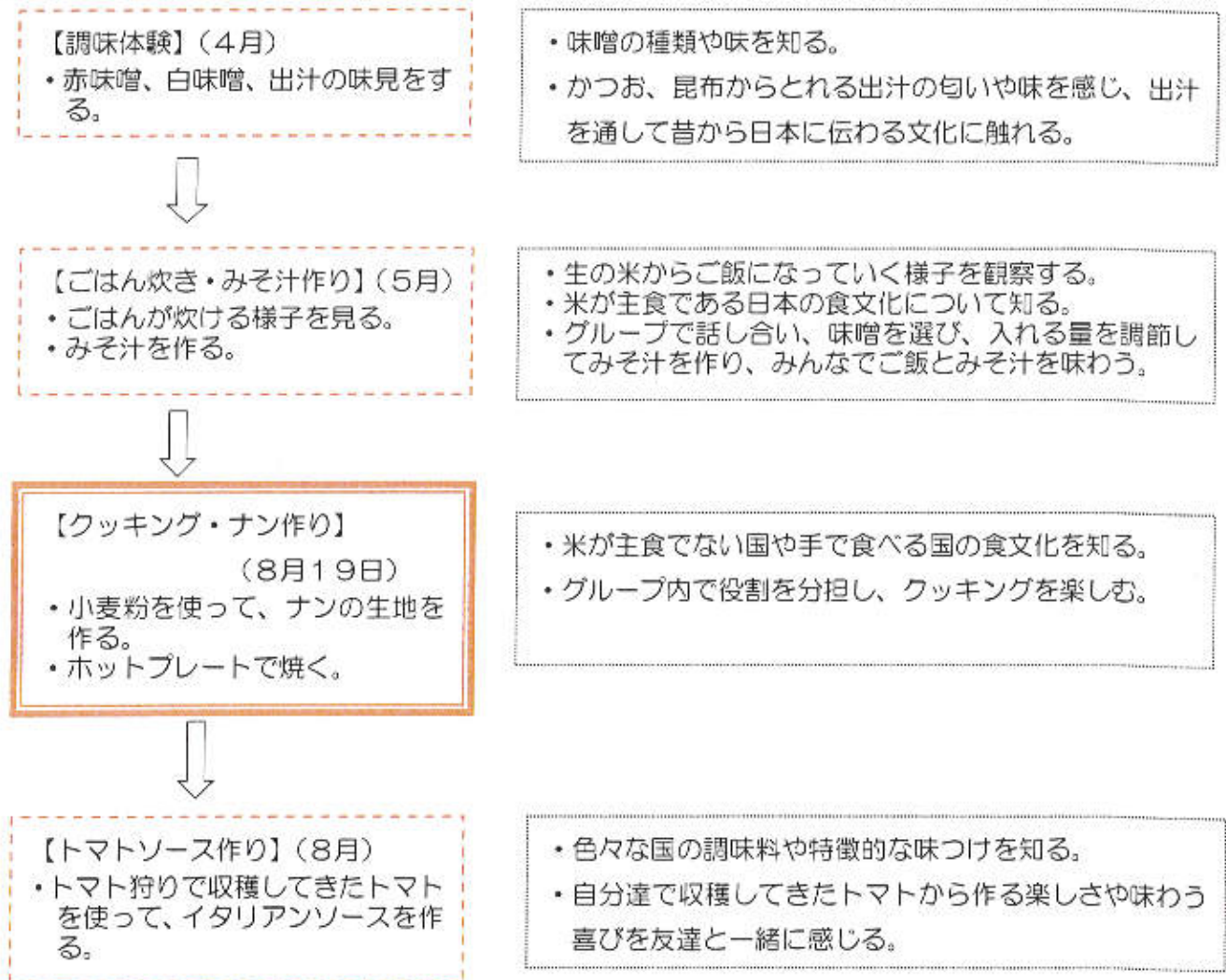
◎子どもの様子

- ・時計を意識し、見通しを立てて自分で考えて行動し気持ちを切り替えようとする姿がある。
- ・プール遊びを存分に楽しみ、一人一人が目標に少しずつ近づいていることに喜びを感じ、伝え合うことで刺激を受け合う姿が見られている。
- ・お泊り保育などの行事を経験し、友達との関わりがより深くなっていると感じられるが、その中での小さな衝突が多く見られている。

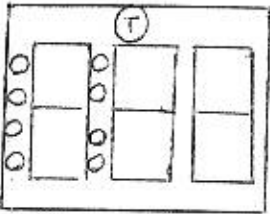
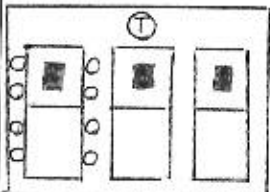
◎ねらい

- ・クッキング活動を通して、色々な国の食文化や習慣の違いに気づき、興味や関心をもつ。
- ・友達と相談し、力を合わせて作る楽しさや一緒に作った物を食べる美味しさを味わう。

○ねらいを達成するための活動の流れ



- 本日の主活動
- ・小麦粉を使って、ナンの生地を作る。
 - ・ホットプレートで焼く。

時刻	環境・準備	予想される子どもの活動	援助・配慮
9:45	<p><場所></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育室 	<p>○エフロン・三角巾をつける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リボン結びなど難しい部分は友達同士で行い合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達同士で助け合う姿を言葉を掛けながら認めたり、見守る。
10:20	 <p>○…子ども</p> <p><準備するもの></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホットプレート ・ボール 	<p>○手洗い・消毒をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班ごとに机の周りに座る。 <p>○調理員の話聞く。「ナン作りについて」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理員の話聞き、ナン作りに期待を持つ。 <p>○ナンをつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いをし、一人ひとりの役割を決める。 ・材料や道具を机に持ってくる。 ・材料が混ざっていく様子に興味を持ち、材料の感触を楽しむ。 ・自分たちの給食になることに期待を持ちながら混ぜたり、丸める。 <p>○片づけをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クッキングがより楽しめるよう子ども達の思いに共感しながら声を掛ける。 ・子ども達の決める姿を見守りながら、一人ひとりに役割があるように配慮する。 ・楽しい雰囲気をつくりながら、混ざっていく様子や感触から感じた刺激を、豊かな言葉で表現できるように引き出していく。 ・自分たちで作る楽しさに共感をする。 ・一人ひとりが役割を持って行えるように伝える。
11:00		<p>○色々な国の食文化や習慣の違いについての写真を見たり、話を聞いたりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビの画面をみんなが見やすいように配慮する。 ・出来るだけ伝わりやすい教材を準備する。
11:20	 <p>…ホットプレート</p>	<p>○ホットプレートを準備し、ナンを焼く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・焼き色がつく様子や、匂いに興味を持つ。 <p>○片づけをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホットプレートで火傷などをしないように十分に安全に配慮する。 ・ワクワクする気持ちを保育者自身が投げかけることで、子ども達も期待が高まるように関わる。 ・最後の片づけまで自分たちの手で行うという意識が持てるように関わる。
11:45		<p>○保育者の話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出来たという達成感を持つ。 <p>○給食の支度をやる。</p> <p>○給食を食べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・味や食感について、友達と言葉を交わし合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の言葉を受け止めながら、出来たという達成感を伝え、給食への期待を膨らませる言葉を掛ける。

《評価のポイント》

- ・クッキングを友達と話し合ったり協力ができていたか。
- ・自分たちで作ったという達成感やクッキングへの興味が深まったか。
- ・自分達で作った物を食べる嬉しさや、人に食べてもらう嬉しさを感じることができたか。

【5 歳児】 ★月2組 29名（男 17名、女 12名）

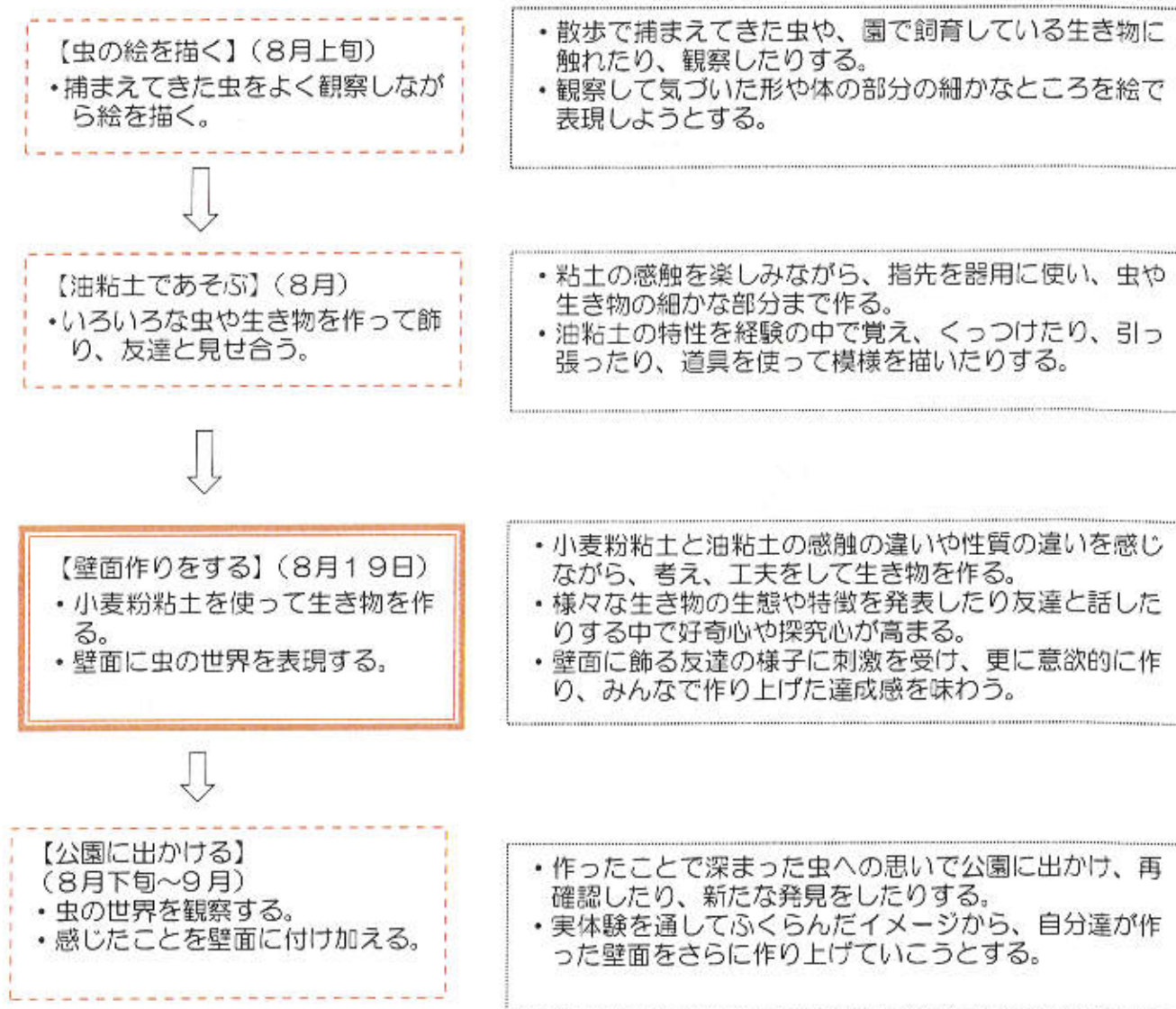
◎子どもの様子

- ・時間を意識して、友だち同士で知らせ合いながら自分達で考えて行動しようとする姿が見られる。
- ・捕まえた虫をよく観察し、生態に興味を持ったり、見た虫の絵を細かなところにも気を付けて丁寧に描いたりしている様子がある。
- ・間違えたくない、失敗したくないという思いから、考えたことや思いを大きな声で伝えられなかったり、様子を見ていることで行動に移すまでに時間が掛かったりする姿が見られている。

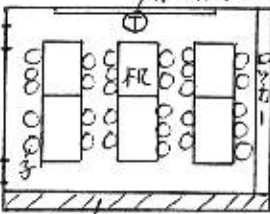
◎ねらい

- ・昆虫やその他の生き物の生態を知り、自然への興味や関心を深める。
- ・細かな所までよく観察し、細部に気づき、実物に触れる経験から感性を養う。

○ねらいを達成するための活動の流れ



- 本日の主活動
- ・友達と協力して小麦粉粘土を作る。
 - ・小麦粉粘土を使って虫や生き物を作り、みんなで森を壁面に表現する。

時刻	環境・準備	子どもの姿	援助・配慮
9:45	<ul style="list-style-type: none"> ・壁面に未完成の森を作っておく。 	<p>○壁面を見て、気づいたことや感じたことを話している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何が始まるのか、期待が高まる。 ・森の中に隠れている虫に気が付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前日までに視聴した「しぜんとあそぼ」を振り返り、イメージを高め合えるような言葉を掛ける。 ・作った虫や生き物を、自由に工夫して森の中に飾っていけるようにしておく。 ・子ども達の気づきを受け止め、伝え合う姿をじっくりと見守る。
9:55	<p>〈準備しておくもの〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小麦粉・水・塩 ・ボール 	<p>○作られた虫が伸びたり縮んだりする様子に不思議さを感じる。</p> <p>○小麦粉から出来ていることを知り、小麦粉粘土を作りたいという思いが膨らむ。</p> <p>○友達と力を合わせて小麦粉粘土を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水を加えることでの小麦粉の変化を感じ、感触を味わっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・隠れていた虫の素材から、興味が一気に高まるような演出をする。 ・自分達で作りたいという意欲を引き出せるよう身振りや言葉掛けを工夫する。 ・準備も自分達で相談して取り組んでいけるような言葉掛けをし、見守る。 ・更に作りたい虫のイメージが膨らみやすいように粘土に絵の具で色をつけていく。
10:10	<ul style="list-style-type: none"> ・粘土板・割りばし ・ヘラ・つまようじ 	<p>○小麦粉粘土を使って虫を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感触を味わいながら、夢中になって作る。 ・出来上がった虫を壁面に飾っていく。 ・イメージする虫がうまく作れず、周りの様子を見ている子もいる。 ・飾ったことで気付いたことを伝え合い、更に虫や生き物を作り始める子もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージした虫を形にしていけるよう見守りながら、必要に応じて個々に声を掛けていく。 ・作った虫を色々な角度から見て楽しめる様な環境設定をし更に作りたいという意欲に繋げていく。 ・自分で出来たという満足感を味わえるような個々に合わせた援助をする。 ・製作時間の目安を伝え、友だちと協力して完成させたいと思えるような言葉を掛ける。
11:10		<p>○完成した森を見て思い思いに感じたことを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に森に行ってみたいと伝え合う子がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで作り上げた壁面を見て、完成したことの満足感を味わえるような雰囲気づくりをする。 ・子ども達の思いをしっかりと受け止め、次回の活動意欲へと繋げていく。
11:30		○片付け・掃除をする。	

《評価のポイント》

- ・自分の思い描いた虫を立体的に表現する楽しさや難しさを感じ、工夫して作ることが出来ていたか。
- ・友だちと一緒に森をイメージし、力を合わせて作ることを楽しめたか。
- ・自分で感じたことや思いなど、自信を持って友だちに伝えられていたか。

【児童クラブ（1～4年生）およびフリースクール（5年生）】

◎子どもの様子

★第1明照児童クラブ 小学1年生 37名（男24名、女13名）

- ・自己中心的、もしくは親しい友達との関係性のみの考えが優勢な中、少しずつではあるが、異学年の子や異性との交流が増え、その楽しさを感じる事が出来る子が多くなってきた。

★第2明照児童クラブ 小学2年生～4年生 50名（男23名、女27名）

- ・上級生は上級生らしく、下級生の世話をしたり、よいお手本となる子が見られる。
- ・異学年の子どうし積極的に関わる姿が見られる。

※現在夏休み中につき児童クラブで過ごす1日の生活の中で、普段とは違う生活や環境となるが、気持ちをきりかえて勉強などの個人的なことだけでなく、手伝いなどの集団活動においても自主的に取り組む姿が見られる。

◎ねらい

- ・人前で演技（表現）をする楽しさや達成感を味わう。
- ・個人およびチームで目標を達成する難しさを克服し、出来た喜びを感じる。
- ・今回演技に参加しない子は、次の機会にはぜひ参加をしたいという意識が芽生える。

○ねらいを達成するための活動の流れ

【話し合い】（6月上旬）

- ・子どもたちと話し合いメンバーをつくる。
- ・チーム分け、演技内容を決定する。

- ・本番の活動内容およびそこまでの過程を説明し、理解したうえでメンバーをつくる。
- ・子どもたちの能力などを考慮し、負担のない演技内容、チーム分けを行う。

【練習】（7月上旬～）

- ・個人で練習をする。
- ・各チームで集まり、練習をする。
- ・練習をしている姿を見学する。

- ・演技（表現）をする事の楽しさを感じる。
- ・チームとして演技をする事の難しさを感じる。
- ・チームで練習をしていくことで、達成意欲の向上を図る。
- ・練習する姿を見ることで、“やりたい”という気持ちが生まれる。

【リハーサル】（8月19日）

- ・本番と同じ流れで通し練習を行う。
- ・見られることの練習として、演技の見せ合いと見学会を行う。

- ・本番同様に演技を行っていくことで、本番の流れを理解し雰囲気を感じる。
- ・見られることの緊張感を感じながらも、自信をもって演技をする。

【発表】（8月23、27日/遊戯会）

- ・人前で演技の発表する。

- ・たくさんの人前で演技をする楽しさや達成感を味わう。

○本日の主活動

- ・演技本番と同じ流れでの通し練習を行う。
- ・見られることの練習として、演技の見せ合いを行う。

時刻	環境・準備	予想される子どもの活動	援助・配慮
9:45	〈場所〉 ・遊戯室	○今日が本番と同じ流れで行う練習であることを伝える。 ○見る、見られることの練習として演技の見せ合いを行うことを伝える。 ・本番直前ということもあり、緊張感を持って話しを聞く姿がある。	・本番直前練習であることをしっかりと伝え、意欲を高める。 ・欠席者がいた場合、その対応について説明し、本番でも同様であることを伝える。
9:55	〈事前に準備しておくもの〉 誕生会ダンスチーム ・BGM トーチトワリングチーム ・トーチ ・長棒 ・旗 ・BGM	○1チームずつ演技練習を行う。 ・演技に集中し、しっかりとした動きが出来る。 ・緊張や集中力の欠如により、間違えたり、ふざけてしまう子もいる。	・演技の出来ではなく、本番の流れを覚えることに重点を置いた言葉がけを行う。 ・演技を失敗してしまった子には、気にしないよう言葉かけるとともに、失敗の原因がわかるようならわかりやすく伝える。
10:30		○本番と同じ流れで演技を行う。 ○他のチームの子は観客となる。 ○見学者を呼び、観客となる。 ・誕生会ダンスチームから順に演技を行って行く。(3組) ・演技をする子を自然と応援する姿が見られる。 ・子どもの観客がいることで、集中力を欠いたり、照れてしまってしっかりとした演技が出来ない子も見られる。	・よい緊張感の中で演技が出来るよう、意欲を高める言葉がけを行ってからスタートする。 ・失敗やアクシデントがあっても、最初から最後まで必ず通して行っていく。 ・観客となる場合もふざけたり笑ったりせず、しっかりと演技を見ているように伝える。 ・指導員も本番司様の動き(世だし、子どもの誘導など)を行い、確認していく。
11:00		○総括を行う。 ・本番に向けてやる気が高まる。	・本番での持ち物や注意事項を伝え、伝わっているかを確認する。 ・本番に向けて意欲の高まる言葉がけを行い、よい雰囲気ですべて終了する。

《評価のポイント》

- ・緊張感の中でも楽しく演技をすることが出来たか。
- ・自分の演技の出来とともに、チームとしての達成感を味わうことが出来たか。
- ・活動を通じ、有能感が得られ、次につながる事が出来たか。

